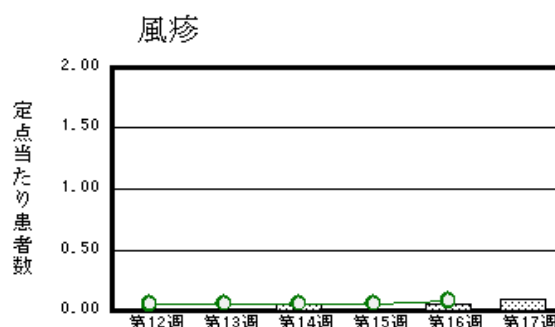
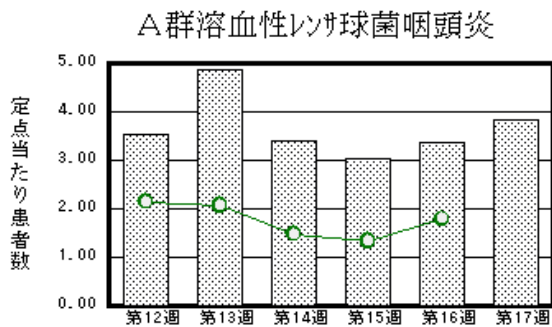
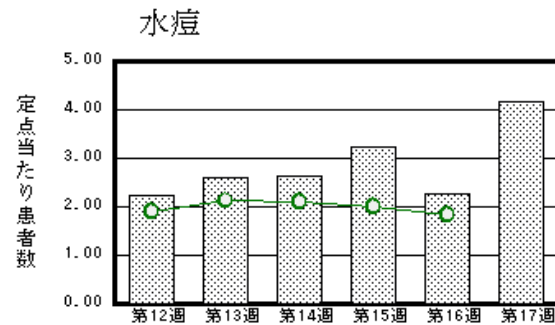
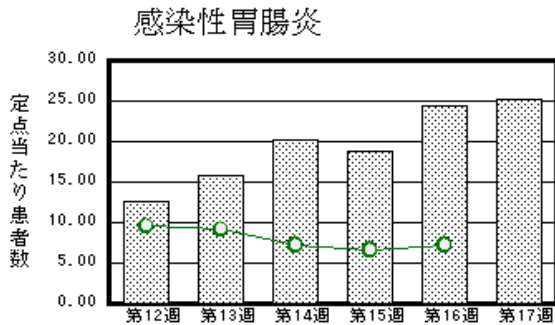


福井県感染症発生動向調査速報 <<平成16年>>

<週報> 第17週 (平成16年4月19日～4月25日) 発行日：平成16年4月27日
 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎556名(25.3名) 水痘92名(4.2名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 84名(3.8名) 咽頭結膜熱25名(1.1名) 伝染性紅斑21名(0.95名) ()内は定点あたり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(556名) 水痘(92名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(84名) 咽頭結膜熱(25名) 伝染性紅斑(21名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は増加しました。(539名 556名)定点あたり患者報告数でみると福井地区41.0名、丹南地区25.4名、二州地区24.0名、奥越地区は16.0名となっています。
- 【水痘】報告数は増加しました。(50名 92名)奥越地区で定点あたり7.5名と県内トップとなっており、続く丹南地区6.6名、坂井地区4.3名となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は増加しました。(74名 84名)奥越地区で定点あたり11.5名、丹南地区で3.6名となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は増加しました。(15名 25名)定点あたり患者報告数は福井地区2.4名、坂井地区2.0名、二州地区0.3名の順になっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第15週号(4月5日～4月11日)要点

発生動向総覧	<第15週> 風しんの定点あたり報告数は前週と同値で、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<風しん> 風しんの発生状況
病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン / インフルエンザウイルス2003/04シーズン
速報	市内保育施設における風しん流行時の対策について一大阪府堺市
海外感染症情報	ボツワナでポリオ患者の報告
感染症の話	<B型肝炎> 急性B型肝炎は本来、自然治癒する傾向が強い疾患であるが、劇症化への移行の可能性に留意しながら対処する必要がある

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)
患者	男児 1名	既届出患者接触者
主な症状	下痢、血便および腹痛	無症状病原体保有者
感染原因・感染経路	調査中	調査中
平成15年同時期届出累計	4人(全国累計:147人)第17週	
平成16年	福井県	有症者6人、無症者3人(第17週:4月25日現在累計)
	全国	180人(第16週:4月18日現在累計)

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成16年 第17週 平成16年4月19日(月)~平成16年4月25日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(16週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	3 0.27		2 0.5	1 0.33	1 0.33	3 0.38	10 0.31	12 0.38	1524 0.32
小児科 (22)	RSウイルス感 染症									62 (15週)
	咽頭結膜熱	17 2.43	6 2.00	1 0.33			1 0.2	25 1.14	15 0.68	933 0.31
	A群溶血性レン 球菌咽頭炎	23 3.29	7 2.33	10 3.33	3 1.5	23 11.5	18 3.6	84 3.82	74 3.36	5459 1.79
	感染性胃腸炎	287 41.00	32 10.67	72 24	6 3	32 16	127 25.4	556 25.27	539 24.5	21963 7.22
	水痘	24 3.43	13 4.33	6 2	1 0.5	15 7.5	33 6.6	92 4.18	50 2.27	5590 1.84
	手足口病	1 0.14					1 0.2	2 0.09	1 0.05	208 0.07
	伝染性紅斑	11 1.57	1 0.33	2 0.67			7 1.4	21 0.95	19 0.86	1487 0.49
	突発性発しん	4 0.57		1 0.33			1 0.5	2 0.4	8 0.36	2407 0.79
	百日咳	3 0.43					2 0.4	5 0.23		39 0.01
	風しん						2 0.4	2 0.09	1 0.05	232 0.08
	ヘルパンギーナ						2 1	2 0.09		247 0.08
	麻しん(成人麻し んを除く)									50 0.02
流行性耳下腺 炎	4 0.57		2 0.67			1 0.5	4 0.8	11 0.50	12 0.55	1993 0.66
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎									14 0.02
	流行性角結膜 炎						1 1	1 0.33	1 0.33	553 0.87
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									2 0.00
	無菌性髄膜炎									13 0.03
	マイコプラズマ肺 炎						1 1	1 0.17		57 0.12
	クラミジア肺炎(オウム 病は除く)									3 0.01
	成人麻しん									2 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第15週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第17週 平成16年4月19日(月)～平成16年4月25日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				17	2			1	1					6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1		48	6		1	4	1					12ヶ月未満								
1歳		1歳		4	5	112	21		1	2	1		2		1	1歳					1			
2歳	2	2歳		6	7	87	22	1	2		1				3	2歳								
3歳	4	3歳		5	4	73	19		4	1		1			2	3歳								
4歳		4歳		1	10	43	19								1	4歳								
5歳		5歳		1	11	41		1	4			1				5歳								
6歳		6歳		1	10	18			3							6歳								
7歳		7歳		1	11	23	1		3						1	7歳								
8歳		8歳		1	11	18			2						1	8歳								
9歳		9歳		2	4	18			1						1	9歳								
10～14歳	1	10～14歳		1	6	36	2				1				1	10～14歳		1						
15～19歳		15～19歳				5										15～19歳								
20～29歳	1	20歳以上		1	5	17										20～29歳								
30～39歳																30～39歳								
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳	1															60～69歳								
70～79歳	1															70歳以上								
80歳以上																								
合計	10	合計	0	25	84	556	92	2	21	8	5	2	2		11	合計		1			1			
前期計	12	前期計	1	15	74	539	50	1	19	17		1			12	前期計		1						
当期間/前期	0.83	当期間/前期		1.67	1.14	1.03	1.84	2	1.11	0.47	***	2	***	***	0.92	当期間/前期	***	1	***	***	***	***	***	***
増減数	-2	増減数	-1	10	10	17	42	1	2	-9	5	1	2		-1	増減数					1			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

